

* 職員の動き *

出勤前

内 容		対外的な対応など
検温 健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表へ記入 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発熱（平熱より 1.0℃ 以上高いまたは 37.0℃ 以上）・乾いた咳・咽頭痛・だるさ・味覚、嗅覚異常などの症状がある場合は自宅待機。無理をして出勤しない！</p> <p>状況により新型コロナウイルス感染症の基準にぞって対応</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用 ・帰宅後の検温を忘れずに 	<p>管理職は必要時，市教委，校医へ相談</p>

児童下校後

スクールサポートスタッフの方がトイレ・水道・手すりの消毒。担任は放課後に教室消毒。

内 容		対外的な対応など
校舎内の消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が直接手にふれる箇所の点検 <p><場所> ドア・手すり・スイッチ・机・椅子の背もたれ等・水道・トイレ（ドア，レバー，便座，ペーパーホルダー）</p> <p><方法></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 点検箇所をアルコールまたは次亜水を浸した布巾やペーパータオルで拭く。 ② 便座はトイレトペーパーもしくはトイレクリーナーで拭き取る。 ③ 使用後のペーパータオルはビニール袋にいれ，口をしぼって捨てる。 ④ 雑巾は水洗いをする。 <p><担当></p> <p>教室…担任 水道場・階段…使用学年で分担して</p> <p>児童トイレ… 1年 南館2階 西トイレ 2年 南館2階 東トイレ 3年 北館2階 西トイレ 4年 北館1階 西トイレ 5年 北館3階 西トイレ 6年 南館3階 東トイレ 教務 南館1階 職員トイレ</p> <p>図書室…司書 保健室…養護教諭 特別教室…使用した職員 職員室・印刷室・玄関…教務，事務</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">保健室用意</p> <p>消毒液・ペーパータオル・手袋・布巾・トイレクリーナー</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>消毒の前には窓を開けて換気を 消毒後は石けんで手洗いを丁寧に</p> </div>

*** 児童の動き及び対応 ***

登校前

内 容		対外的な対応など
検温 健康観察	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察記録用紙へ、体温・症状・保護者のサインを記入 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>発熱（平熱より 1.0℃以上高いまたは 37.0℃以上）がある場合や、乾いた咳、咽頭痛、だるさ、味覚・嗅覚異常など、いつもと違うと感じた場合は自宅で様子を見て無理して登校しない。（レベル1）</p> <p>同居の家族にかぜ症状等がある場合あるいは PCR 検査等を受ける場合は登校を控える。（レベル2）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 用紙がない場合は、連絡帳に記入するようにし、新用紙を渡す。 マスク（不織布が望ましい）の着用とハンカチ（吸湿性のよいもの2～3枚）を忘れずに 	保護者への周知，協力の依頼（健康観察・朝の検温・マスクの着用等）

登校後 その① 玄関で

内 容		対外的な対応など
マスク着用の確認 健康観察記録用紙の確認	<ul style="list-style-type: none"> クラスの下駄箱の前には3人を目安として入れる。 間隔を空けて並び待つ。 玄関前で健康観察記録用紙を教務が確認する。検温をしていない場合は非接触型温度計で測定し用紙に記入する。発熱等確認された場合は保健室で待機。（まん延防止等重点措置） 	<ul style="list-style-type: none"> 教務は交通整理。検温確認。（レベル2）担任は教室で児童を受け入れる。

登校後 その② 教室で

アルコール手指消毒 健康観察記録用紙確認	<ul style="list-style-type: none"> 入口でアルコール手指消毒指示（アルコールや石けんに皮膚の弱い児童は流水での手洗いでよいという配慮） 担任は教室で健康観察記録用紙を確認する。検温をしていない場合は教室用の非接触型温度計で測定し用紙に記入する。用紙を忘れた場合は連絡帳に記入する。用紙がない場合は再発行。健康観察記録用紙は帰りまでに担任のサイン記入。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>発熱（平熱より 1.0℃以上高いまたは 37.0℃以上）がある場合や、乾いた咳、咽頭痛、だるさ、味覚・嗅覚異常など、いつもと違うと感じた場合→早退（お迎えの場合は保健室で待つ）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 担任は教室の窓開け，前後のドアの開放，欄間の開放（常時） 保護者へ連絡 早退児がいる場合は，他児童の受け入れは保健室前で行う。
-------------------------	---	---

教室で

時間	内 容		対外的な対応など
朝の会	健康観察 感染症予防行動指導	<ul style="list-style-type: none"> • 通常健康観察を実施し、健康観察簿に記入する。 • マスクの着用、石けんでの手洗い、アルコール手指消毒、咳エチケットの指導 • トイレ利用、休み時間等での三密回避の確認。 • 手を口や顔（特に目）にもっていかない。（必要に応じてハンカチ、ティッシュを利用） 	<ul style="list-style-type: none"> • 養護教諭は朝の健康観察の結果を管理職へ報告。 • 感染症サーベイランス入力
授業中	換気 手洗い 咳エチケット	<ul style="list-style-type: none"> • 常時換気を行う。二酸化炭素チェッカーの使用。 • マスク着用の指導。会話をしない場合は時々マスクを外して深呼吸するなど熱中症予防にこころがける。 • 机は前向き、できるだけ離す • 身体的接触、近距離での活動をさける。特に、体育・音楽・グループ学習など授業の構成の工夫と感染症予防を徹底する。共用で器具や用具を使用する時は使用前後に手洗いや消毒を行う。消毒できるものは消毒。困難なものは手洗いの徹底。 • 決められた机・イス・ロッカーを使用 	<ul style="list-style-type: none"> • 机の間隔は、児童間は1m、教師と最前列の児童間は2mが望ましい • コモンスペースのピアノ、教室のオルガンは使用後に消毒（アルコールをペーパータオルに含ませて拭く
休み時間		<ul style="list-style-type: none"> • 担任は、休み時間ごとに教室と廊下の窓を5～10分程度あけ換気をする。点検表にチェックする。 • 石けんでの手洗い・アルコール手指消毒指示 *発熱等で早退した児童・生徒がいた時のみの指導にならないために、毎時間声をかける。特に、トイレ、外遊び、給食の前 	<ul style="list-style-type: none"> • 教室環境チェックリスト使用 • 休み時間の遊具の使用可（ただし、使用後の手洗いを徹底）
給食		<ul style="list-style-type: none"> • 石けんでの手洗い・アルコール手指消毒 • 給食当番の健康チェック • 配膳台と机は水拭きして消毒（アルコール） • 前向き給食 机をできるだけ離す • 配膳時、片づけ時に児童の間隔を十分にとる。 • おかわりは、飲食した食器に共有のおたま等が接触しないよう配慮し担任が行う。 • 食べ終わったらマスク着用 • 歯みがきは、口を閉じ行い、うがいは水はねに注意し、歯ブラシは水気を切り各自のコップに入れ教室保管。 	<ul style="list-style-type: none"> • 手洗い後の水道のカランに手で水をかける。 • 手洗い場での順番待ちはタイル部分より外で待つ。
掃除		<ul style="list-style-type: none"> • 可能なかぎり水拭き掃除 • ゴミ箱のごみは放課後、毎日処分する • 鼻をかんだティッシュ・マスク等は各自が用意したビニール袋に入れて持ち帰る • 清掃前後石けんでの手洗い・アルコール手指消毒指示 	

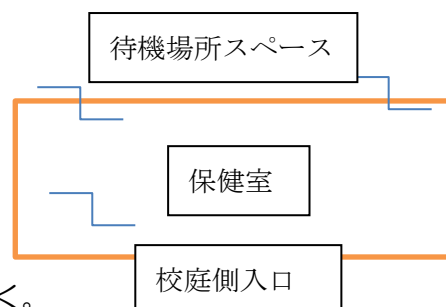
帰りの会	感染症予防行動指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を出る時にアルコール手指消毒指示（皮膚の弱い児童への配慮） ・健康観察記録用紙を持ち帰る 	
------	-----------	--	--

図書室で

内 容		対外的な対応など
マスク着用の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・貸し出し前、返却後に石けんでの手洗い・アルコール手指消毒指示 ・貸し出し、返却時は間隔をあける。 ・返却本はアルコールのついた布で拭くか自動除菌機を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティション設置 ・詳細は別紙「図書館利用の仕方」参照
	<p>家で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で本を読む時は前後で手洗いをする。できるだけ、家でもマスクをつけて読む。 ・飲食しながら読まない。 ・本を読みながら手を口や顔（特に目）にもっていかない。 	

* 登校後、発熱や体調不良等を訴える児童がいた場合

保健室：体調不良者の待機スペース
保健室前廊下：けが人の手当場所



- ①教室で検温をする
- ②保健室に連絡する。
電話で状況確認をする。様子により、養護教諭が迎えに行く。
帰りの支度をする。
- ③保健室にて、再度検温し症状の確認をする。

発熱の有無にかかわらず、体調不良者はお迎えをお願いします（連絡は担任）

- *保健室は体調不良者専用とし、健康診断等で保健室が使えない場合は別室（会議室）待機とする。
- *その都度消毒する。
- *お迎えの保護者は、保健室校庭側から入る。帰りのしたくにシューズもげた箱から持ってくる。
- *複数いる場合は、保健室をスクリーンで分けて待機させる。

☆処置台（けがをしたとき）、トイレトペーパー等を廊下に出し、健康な児童が保健室に入らないようにする。

* 登校後、同居家族がPCR検査または抗原検査を受ける場合の対応 *

- ① 抗原検査の場合は短時間で結果がわかるので、保健室で自習をしながら待機する。
- ② PCR検査の場合は結果がわかるのに時間がかかるため、早退の措置をとる。
帰りの支度をし、シューズを持って保健室にて待機。
- ③ どちらの場合も待機中に給食の時間帯が入った場合は、職員室の給食を保健室で食べるようにする。

- 「具合が悪いことを言える」ような雰囲気づくりを
- 個人を非難しないような配慮を
- 過敏に反応する児童や不安になる児童への配慮を
- 授業中も健康観察を丁寧に
- 授業中の児童の様子を観察し、声掛けを
- 必要に応じスクールカウンセラーとの連携を

* 教育活動での制限（レベル2） *

- 人との距離は、できるだけ2m（最低1m）空け、身体的距離を優先
- ① 児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク
 - ② 近距離で一斉に大きな声で話す活動

* 各教科での対応例（レベル2） *

- 家庭科 調理実習は見合わせます
- 体育 可能な限り屋外で運動 個人や少人数で密集せず距離を取って行うことができる運動とします
- 音楽 歌唱、口に触れる楽器の演奏は見合わせます
- 理科 近距離で活動する実験や観察を見合わせます
- 図工 近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞を見合わせます

* その他 *

- 登下校は直行・直帰で。
- 不要不急の外出は控える。

